おめでとう

英語検定の合格者です。

<準二級> 米盛航平③

<三級>

田場龍翔③,小濱初音③ 石井新奈③, 岡田萌華③ 吉田愛香③, 糸村宏國③ 金城光優③,赤嶺優実② 中川愛彩②, 久髙政虎② 大兼久敬太①

喜舎場すいみ①

<四級>

伊佐万里愛③, 津波 琉② 呉屋杏圭音②, 高山朝華② 新里友菜②,平敷玲佳② 城間美優②,志喜屋風佳① 陽斗①, 仲本航平① 山根鈴未①

<五級>

لح

思

0

事

を

実

行

よ徒し

置

れ

る

たに

を気にすっいります。

元直して

でな見

浦﨑永都①, 古堅茉由子① 鍋田愛華①,金城晴奈①



一心優しく勇気ある四人の三年生-

大 届 親 ら通校 L お切 て停 つ内手 感 ま 貴 : 付校 が 送る近の にた。 て容紙謝四 礼 お のいは、 悔 が L で の人 生徒 気のた。 で、 L い言 7 っ所 ま す。 次た。 てえ てを 持本 手 頂 ち校 いない い安迷に \mathcal{O}

ま

1

ま

す。

せががと

です よう

緒

に

送

5

た。

強し もい

部気

活もち

遊を

テ

紙 紙 に \$

持

て

1

な

 \mathcal{O}

に名前を

11

まよい。

たとう。 ス メ } 七 用用

どうし

のか、い

な

いりた

1

うございな 「えず、 いそのん でれ夜 葉 せ はた に家まで 本 が なの遅 ごめ か、親御となったのであったのであったのであったのであったのであったのであるというれた。 かと心 が、迷 いで送っ なな 子に で、 しか さ 配 んに心にかったっかったっ てくれ で、 になって 親 配をいる。 てあ 配 切 分 にな 、る時 りが かが L お 。 け家 すたに てく 礼 に、

も 忘れないでください。 勉 お友達を大切にしてくだ お友達を大切にしてくだ さい。

そこ

お

手

紙

を

書

みの帰

を

れ

せ

て 頂

き

ま

た。

な

にあり

がとうござ

S

Ņ

0

徒

りださ

とても

楽

す分の。

人の役に

を <u>\</u>

い誠

いことでなができるよ

す。

できると

Š

l 古A迎生

ポ里Eの

紹イのTあ

しに、た り私 を 代 書 わりの わ が苦 に 書 1 手 いてもらうことによかなので、言語聴覚

士

Ł

るの ま ま 1 は す。 事 数年 L を相に かさえも分からなくなってしに。混乱すると、自分が何をしを相手に伝える事ができなく【た。失語症という病気は、言】 カュ 1乱すると、 相手に伝えみ で、病気 ょ ŋ 失語 症

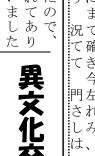
11月6日 神原中 不定期22号 言に 覚

平成27年

平成9年5月に那覇市の都市 景観資源に指定された本校名 物のトックリキワタの花がだ んだんと咲き誇り、目立つよ うになってきました。

まだまだ葉っぱが目立つ状 況ではあるものの、日を追っ て確実に濃いピンク色が増え てきました。

今年は、昨年不調だった正 門左横の木に多くの蕾が確認 され、今から満開の時期が楽 しみです。近くにお寄りの際 は、是非ご鑑賞ください。



三 と 名 に 流会覇 に 最初を て、 し、古去ろ る十 内 学生 行本の に 校三 徒 11 小 ・ました。 階 多 目 L 面 まし 的 広 し · 校 た。 事 Τ 項 で ピ 等 各 紹 異が時 口 文一に

化同

交に那

見ていた。注も食い映像ないし出さ に各学級 イ 表によ が 表によ で た 表によ ント 介 集 し 5 等 さ ハり生徒 松へ移動 佐達と対 中いをれる つく る 生美 0) 交流 を深 8 学介 ま級の しに あ

自分のできれている 自分のできれている に移す事ができる にもなりたい にもなりたい

た

生

徒

、るとい べを持っ

うこと

L

テ